

# シニアオリエンテーリング

あいちシニアオリエンテーリング愛好会 444-0856 愛知県岡崎市六名1丁目5-6

No.6 2024.6



昔は田畑であったであることをうかがわせる段差と平坦な土地(新城市作手地区にて)2024.5

## 思い出のオリエンテーリング

### 0-map を調査し、作成する時代へ(3)

1975年にIOFの地図図式規定が定められ1977年5月に我が国の地図図式規程が制定された、4月号で述べたように地図を描くことになった。線は定められた太さとなるよう製図ペンが使われた。一方の記号も濃淡やストライプ・ドットで表現されるようになった。オレンジでも耕作地はベタ(100%)のオレンジ、荒地は30%、まばらに木が生えたところはドット、湿地は横のストライプ、走行可能度は濃さの異なる緑などである。

ここで活躍したのがレトラトーンやスクリーン

トーンというものである。これはフィルムの表面に印刷し、裏面に接着剤を付けたものである。これを所定の形にカッターで切り、地図フィルムに張り付けるのである。このレトラトーンなどは比較的大きな文房具店ではおいてあり、容易に入手できた。製図ペンも同様、容易に入手できた。小径や小道など破線で表現するものは規定にできるだけ忠実に描くため、定規を使って書いた。

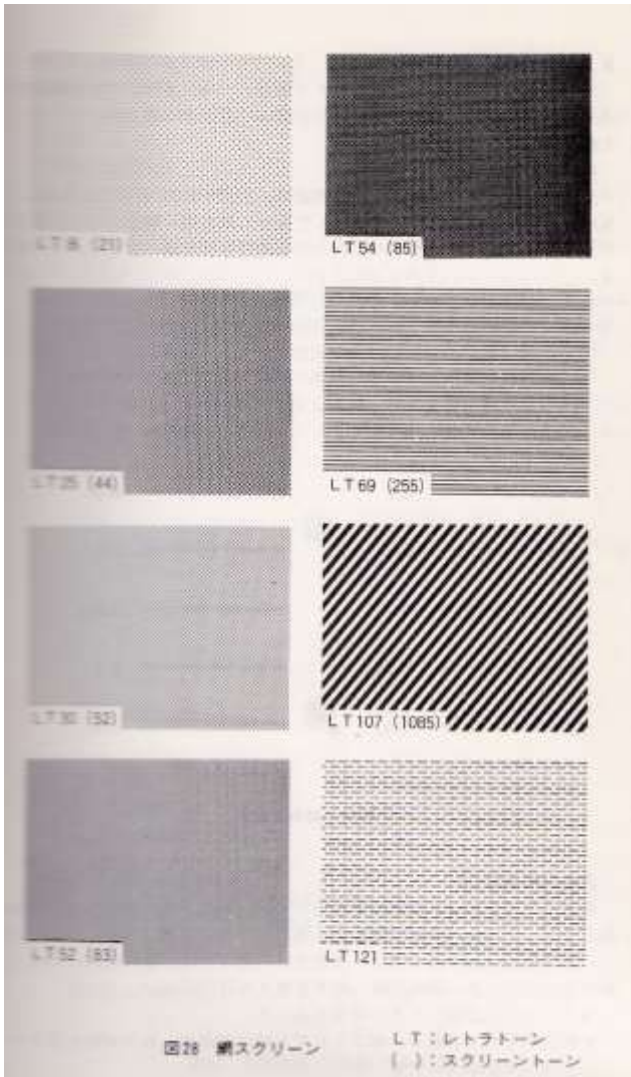


図28 網スクリーン LT:レトラトーン ( ):スクリーントーン

## レトラトーン

## お知らせ

【変更になる場合もあります。HP ([シニアのオリエンテーリング \(catvmics.ne.jp\)](http://catvmics.ne.jp)) でご確認ください。】

**12月～1月 東三河ふるさと公園(豊川市)で大会を予定**



黒の部分はインクで塗りつぶし、網目の部分はレトラトーンを切り貼りした原図(走行可能度を示す緑版やオープン度を示すオレンジ版)

私(小野)が初めて公認大会用地図を昭和52年11月に作成した。1/20,000 等高線間隔 10mの「オリエンテーリング愛知大会」と大会名をタイトルにした地図である。

下図を張り付けたガラス板の下から蛍光灯で照らして、下図を印刷原稿となるプラスチックフィルムに製図ペンで書き写して製作した。これで視力が少し落ちた。



昨年6月の大雨により一部の園路が通れなくなり、その復活もやっとはじまったばかりです。また新しい舗装遊歩道の工事もしばらくかかりそうですが、今年終わりごろには、大会が開けそうです。